

令和2年度社会福祉法人北海道家庭学校事業報告書

【概況1】

社会福祉法人北海道家庭学校

I 組織体制について

1 役員

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	仁原正幹	理事	島田光隆
常務理事	清澤満	理事	浅利誠
理事	太田充子	理事	平出寿
理事	軽部晴文	監事	枝松邦幸
理事	関根春信	監事	高藤和明

2 評議員

坂本満	齋藤義信	廣田洋子
佐藤京子	佐々木雅昭	小山和利
森下一彦	河原英男	吉野政明

3 評議員選任・解任委員会委員

選任区分	氏名	選任区分	氏名
外部委員	吉川紘	事務局員	平井敬二
監事	枝松邦幸	事務局員	楠哲雄
監事	高藤和明		

4 嘱託医、顧問、苦情解決第三者委員、事故防止対策委員

役職名	氏名	役職名	氏名
嘱託医(精神科)	太田充子	酪農顧問	大黒宏
嘱託医(内科)	瀧本玲子	苦情解決第三者委員	藤江昭
嘱託医(歯科)	東海林浩二	苦情解決第三者委員	熊谷憲子
顧問弁護士	村松法律事務所 村松弘康	事故防止対策委員	木村一則
		事故防止対策委員	高橋久
特別顧問	家村昭矩	事故防止対策委員	浅利誠
山林顧問	森島直樹(～9/30)	事故防止対策委員	吉村憲彦
山林顧問	佐藤盛市(～9/30)	事故防止対策委員	清澤満
山林顧問	阿部理(10/1～)		

嘱託医には、健康診断を中心に入所児童の健康状況を診ていただいた。

山林顧問森島・佐藤氏が退任し、阿部氏が就任した（令和2年10月1日付）

苦情解決第三者委員及び事故防止対策委員には、合同の会議を開催し、家庭学校と児童の状況を報告し、助言をいただいた。

○苦情解決第三者委員会・事故防止対策委員会の開催状況

合同会議 令和3年3月8日（月）開催

- ・家庭学校の現状について
- ・児童の意向を把握する仕組みについて
- ・事故の発生状況について

5 北海道家庭学校百年史編集委員会

任期 平成31年4月1日から令和3年3月31日まで（令和3年3月31日現在）

委員長	二井仁美	北海道教育大学旭川校 教授
委員	大泉 溥	日本福祉大学 名誉教授
〃	富田 拓	網走刑務所 矯正医官 樹下庵診療所医療参事
〃	河原 英男	遠軽町教育委員会 教育長
〃	森田 穰	遠軽町立遠軽小学校 校長
〃	阿久津美紀	目白大学 助教
〃	家村昭矩	社会福祉法人北海道家庭学校 特別顧問
〃	佐藤京子	社会福祉法人北海道家庭学校 評議員
〃	仁原正幹	社会福祉法人北海道家庭学校 理事長
〃	清澤 満	社会福祉法人北海道家庭学校 常務理事 校長
〃	軽部晴文	社会福祉法人北海道家庭学校 理事
事務局	安江陽一郎	社会福祉法人北海道家庭学校 事務局長
〃	平井敬二	社会福祉法人北海道家庭学校 企画総務部長
〃	楠 哲雄	社会福祉法人北海道家庭学校 自立支援部長

○役職員・外部委員の数 44名

理事	8名	監事	2名
評議員	9名	嘱託医（精神科 内科 歯科）	3名
顧問弁護士	1名	特別顧問	1名
山林顧問	2名→1名	酪農顧問	1名
苦情解決第三者委員	2名	事故防止対策委員	5名
百年史編集委員	11名		

II 理事会等について

1 理事会の開催状況

開 催 日	議 事 案 件
第1回（書面表決） 令和2年6月2日	<ul style="list-style-type: none">・令和元年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第4次補正）について・令和元年度社会福祉法人北海道家庭学校事業報告及び決算報告について・監査報告について・評議員会決議の省略について
第2回 令和2年9月25日	<ul style="list-style-type: none">・監査報告について・事故報告について・人事について・樹下庵診療所開設内容の変更について・高額寄附の受領について・感謝状の贈呈について・北海道家庭学校百年史及び北海道家庭学校ガイドブックの作成状況について・山林顧問の委嘱について
第3回（書面表決） 令和2年12月4日	<ul style="list-style-type: none">・高額寄附の受領について・感謝状の贈呈について・令和2年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第1次補正）について
第4回 令和3年3月18日	<ul style="list-style-type: none">・監査報告について・令和2年度児童福祉施設指導監査について・人事について・令和2年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第2次補正）について・社会福祉法人北海道家庭学校給与規程の一部改定について・令和3年度社会福祉法人北海道家庭学校事業計画及び一般会計予算について

2 監事監査の実施状況

- ・令和 2年 5月22日 令和元年度決算監査
- ・令和 2年 9月18日 定期監査
- ・令和 3年 1月27日 定期監査
- ・令和 3年 3月 9日 定期監査

Ⅲ 評議員会について

1 評議員会の開催状況

開 催 日	議 事 案 件
第1回（書面表決） 令和2年6月15日	・ 令和元年度社会福祉法人北海道家庭学校事業報告及び決算報告 について ・ 監査報告について ・ 理事の選任について

Ⅳ 諸規程の整備について

関係法制度等の動きや家庭学校の運営に即して、次のとおり諸規程を整備しました。

1 給与規程の一部改正

- ・ 施設長に関する規定のうち施設長手当、昇給、年俸制について削除及び改正を行いました。
- ・ 特殊業務手当の職種区分を10区分から12区分に変更し、調整数の見直しも行いました。

Ⅴ 主要工事・新規購入物品等について

1 礼拝堂大規模修繕工事	9, 196, 000円
2 柏葉寮浴室等改修工事	2, 134, 000円
3 図書館住宅水回り改修工事	382, 800円
4 移送車輛購入（日産エクストレイル）	3, 000, 000円
5 ヨーグルト製造器購入	975, 000円

- ・ 礼拝堂大規模修繕工事は、北海道及び遠軽町からの補助金6,800,000円を基に腐食部材交換、外壁・屋根塗装、床面張替等を行いました。自己資金分の2,396,000円については、服部朗氏からの寄附金5,000,000円から充当しました。
- ・ 移送車輛は、遠軽信金創立70周年記念寄附車輛として同信金からの全額寄附金により購入させて頂きました。

【概況2】

児童自立支援施設「北海道家庭学校」

I 総括

1 暫定定員

令和2年度の暫定定員は、前年度の月初平均児童数が多かったことから前年より2名増の29名となりました。年度中に入所した児童は8名で、退所した児童は17名でした。3年3月の初日在籍数は23名で、年度末の在籍は12名でした。

2 個別的・専門的な対応の必要な児童への配慮

入所児童のうち被虐待経験を有するケース、発達障害を有するケースがともに約9割あり

ました。集団的な指導に加えて、個別的・専門的な対応が必須となっています。
 令和2年度は、29名の児童に対して心理士による心理療法を86回、生活場面面接を115回実施しました。樹下庵診療所には、開院した93日間に76名の児童（うち家庭学校入所児童30名）が延べ1,092人受診しました。

3 分校と連携しての学習支援と自立支援

入所児童は本館において、遠軽中学校・東小学校の望の岡分校による授業を受けています。月曜・火曜・木曜の午後、望の岡分校の学校日課の中で、家庭学校職員と望の岡分校教員の連携協力の下に作業班学習を展開しています。また、多くの行事を連携協力しながら共催で実施しています。

4 中卒児童への支援

義務教育を終了している中卒児童への支援は、家庭学校職員が児童それぞれの進路に応じたプログラムを用意して対応しています。

II 職員について

令和2年度在職職員及び事務分掌は、次のとおりです。（令和3年3月31日現在）

職名	氏名	職務内容・事務分掌
校長	清澤 満	総括
事務局長	安江 陽一郎	総括補佐
企画総務部長	平井 敬二	企画総務部総括 法人本部事務・会計
職業指導員	夔本 賢治	主幹（酪農業務） 酪農班指導
〃	夔本 広美	主任（酪農業務） 酪農班指導
主任	加藤 留美	施設事務・会計
事務員	岩田 可奈子	施設事務・会計
栄養士	菅原 希望	栄養管理 給食献立作成 食材調達等管理
自立支援部長	楠 哲雄	自立支援部総括 石上館寮長
児童自立支援専門員	楠 美和	主幹（特命：石上館寮母） 給食調理
〃	竹中 大幸	主幹（本館、寮運營業務・作業指導） 中卒クラス担当 校内管理班指導
〃	千葉 正義	楽山寮長 蔬菜班指導
〃	藤原 浩	掬泉寮長 園芸班指導
〃	藤久 静恵	本館職員 園芸班指導 給食調理
〃	木元 勤	本館職員 中卒クラス担当 山林班指導
〃	佐藤 高志	本館職員 中卒クラス担当 蔬菜班指導
〃	大里 真子	本館職員 校内管理班指導 給食調理
児童生活支援員	千葉 珠季	楽山寮母 給食調理
〃	藤原 美香	掬泉寮母 給食調理
児童生活指導員	西村 健太郎	本館職員 中卒クラス担当 山林班指導

児童生活指導員	稲田翔平	本館職員 山林班指導
心理士	姜京任	本館職員 心理担当 診療所受付・会計
嘱託	武田真紀子	給食調理
〃	西村由香	給食調理
〃	栄和子	非常勤講師（中卒クラス担当）
〃	佐々木真哉	非常勤講師（切り絵担当） 酪農業務

○職員数

北海道家庭学校 26名

令和3年3月31日現在

(内 訳) 校長	1名
事務局長	1名
事務職	3名
栄養士	1名
児童自立支援専門員	9名
児童生活支援員	2名
児童生活指導員	2名
心理士	1名
職業指導員	2名
嘱託職員	4名
（調理員	2名)
（非常勤講師	2名)

Ⅲ 児童の現況及び業務の推進状況について

1 入所児童

(1) 令和2年度における児童の入退所状況（初日在籍人数及び各月の入退所数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日 在籍数	22	22	24	24	24	24	24	25	25	23	23	23	月平均 23.5
入所数	1 (1)	2	0	0	0	1	1	1	0	0	0	2	8 (1)
退所数	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	13	17

※入所数欄の()内は月の初日に入所した児童数の再掲である。

(2) 令和2年度における退所児童の進路等の状況

進路先		人数	進路先	人数
家庭復帰	復学	6	他の児童福祉施設への措置変更	6
	進学	4	不結果（児相に再判定依頼）	1
	就職	0	その他	0
	その他	0		
直接就職		0	計	17

(3) 児童相談所別入退所の状況

区分	中央	旭川	帯広	釧路	函館	北見	岩見沢	室蘭	札幌市	計
入所	1	0	2	1	0	3	0	0	1	8
退所	0	1	8	0	0	2	1	2	3	17

2 寮運営

令和2年度は一般寮3寮（石上館・掬泉寮・楽山寮）を運営しました。

3 作業班学習

月曜・火曜・木曜日の午後、野菜班、園芸班、山林班、校内管理班、酪農班の5班に分かれ、作業班学習を行いました。活動内容について、11月18日～19日開催の作業班学習発表会において、児童全員が発表しました。

各作業班における主な活動内容は次のとおりです。

	野菜班	園芸班	山林班	校内管理班	酪農班
4月	ビニールハウス補修・造営 苗仮植	花の苗の仮植 温床用ハウス組立	安全講習 間伐 倒木・危険木処理 礼拝堂への参道の清掃と整備 神社山の桜整備	スノーポール撤去 側溝砂利上げ 楽山療温床・部材確認 神社山ハウス移設 スキーリフト撤去	牛舎清掃 電牧線張 給餌 排水溝整備
5月	野菜苗植え付け 播種	花の仮植 播種 花壇の畑作り 関係者にプランター配布	看板作成 山道の穴の補修作業 桜周辺の下草刈り	楽山療温床・掘削、部材加工 環境整備 カラマツ植樹	牛舎清掃 電牧線張 給餌 牛舎周辺刈払
6月	野菜の苗の定植 雑草抜き	花の苗定植 花壇の畑作り	桜周辺の下草刈り 礼拝堂駐車場雑木処理 林道整備	楽山療温床・部材加工 味噌小屋周辺環境整備 環境整備	牛舎周辺刈払 環境整備

7 月	牧草収納応援 移植	花の苗定植 花壇の除草	桜周辺の下草刈り 倒木処理	楽山療温床・部材 加工、解体 環境整備	牛舎周辺刈払 収穫牧草の収納 放牧地雑草取り
8 月	追肥 野菜収穫	花壇の除草	倒木・危険木処理 桜周辺の下草刈り	楽山療温床・防腐 剤塗布、解体 環境整備 木工教室で解体・ 整理	牛舎清掃 牛舎周辺刈払
9 月	秋野菜の播種 野菜収穫	花壇の除草 環境整備 花の苗の仮植	倒木・危険木処理 木材運搬	楽山療温床・防腐 剤塗布、部材加工 味噌小屋周辺環境 整備	牛舎清掃 放牧地周辺刈払 放牧地整備
10 月	野菜の収穫 落ち葉集め 天地返し	ドライフラワー作 り 土作り 花壇の後片付け	倒木・危険木処理 間伐 桜周辺の下草刈り と雑木整備 桜冬囲い	楽山療温床・部材 加工、組み立て 味噌天地返し、樽 移し替え 味噌小屋掃除 味噌造り 発表会掲示板ペン キ塗り	牛舎周辺刈払 収穫牧草の収納 収穫機械の清掃 採草地の土壌分析
11 月	作業班学習発表会				
12 月	野菜の保存	土焼き	山林作業	スノーポール設置 クリスマスリース 製作・設置	給餌 牛舎清掃
1 月	除雪	山林班と合同で伐 木	山林作業	山林作業	給餌 牛舎清掃 乳製品製造 除雪
2 月	山林作業 除雪	播種 育苗 除雪	山林作業	山林作業 除雪	乳製品製造 除雪
3 月	山林作業 除雪	温床整備 播種 育苗	山林作業	山林作業 除雪	乳製品製造 除雪

4 事故等の状況

(1) 事故発生状況

自殺未遂	1件	1名	飲まずに溜め込んだ向精神薬を一気に飲む。
暴力行為	2件	4名	児童同士で度を越したふざけ合いをする。 イラついた児童が職員に石を投げる。
無断外出	2件	6名	就寝後に万引き目的で3名が2度無断外出する。
性的逸脱行為	1件	1名	自分自身の陰部を他児に見せる。
怪我	2件	2名	大腿骨すべり症になり緊急手術をする。 授業中のサッカーで右足親指を骨折する。
虐待疑い	2件	2名	子どもの話を聞いて不信感を持った保護者が訴える。 児童の挑発に対して職員が過剰と思える対応をする。

過去5年間の無断外出の発生状況

	28年度	29年度	30年度	元年度	令和2年度
件数	1	1	1	2	2
延べ人数	1	1	1	2	6

(2) 苦情の申し出状況

苦情受け付け箱（希望の声）を本館と給食棟の2カ所に設置し、児童の意見表明の機会を設けています。令和2年度の苦情受付は3件でした。

内容は、掬泉寮の風呂の水が濁るので水道水にして欲しいというものでした。その結果、水道水に切り替えています。（3件とも同じ内容）

(3) 一群アンケートの実施状況

月に1度、全ての児童を対象にアンケート調査を実施し、記載のあったものについては速やかに対応しました。

5 クラブ活動

令和2年度は、1年を通して土曜日の午前中にクラブ活動を実施しました。

前期はフットサルと切り絵、後期はスキーと切り絵でした。

今年度の合気道は新型コロナウイルスの影響で活動を見合わせました。

6 年間行事等の状況

4月	6日：一学期始業式
5月	3～4日：校長杯（フットサル・ミニバレー・ソフトボール・サッカー） 8日：花見の会 20日：マラソン大会 25日：散髪奉仕 29日：寮対抗バレーボール大会

6月	25日：内科検診
7月	13日：散髪奉仕 14日：歯科検診 15日：相撲大会 24日：済美館清掃 27日：釣り遠足 30日：一学期終業式
8月	1日：慰霊祭 4～17日：夏季一時帰省 20日：二学期始業式
9月	7日：散髪奉仕 13日：運動会 23日：マラソン大会 24日：創立記念日 30～10月2日：研修旅行（知床方面）
10月	9月30～2日：研修旅行（知床） 12日：園遊会 26日：散髪奉仕
11月	18～19日：作業班学習発表会
12月	7日：散髪奉仕 9日：音楽発表会 14日：木彫展 22日：二学期終業式 23日：クリスマス礼拝・晩餐会 26日：もちつき 28日～1月4日：冬季一時帰省
1月	12月28日～4日：冬季一時帰省 12日：三学期始業式 25日：散髪奉仕 25～29日：スキー学習 29日スキー大会（大回転）
2月	5日：スキー大会（滑降） 12日：雪像コンクール 10日：スキー大会（回転） 23日：XCスキー大会（太陽の丘）
3月	1日：散髪奉仕 20日：卒業証書授与式
毎月	平和山記念碑参拝登山 誕生会 朗読会 日曜礼拝（毎週）

7 会議の開催状況

会議を次のとおり行いました。

- (1) 職員会議 … 毎週1回定例開催（原則水曜日午前）
- (2) 成績査定会議 … 成績を査定し、三賞（努力賞・作業賞・学業賞）を決定
7月29日 12月16日 3月17日
- (3) 作業班編成会議 … 4月1日 8月18日 1月7日
- (4) 給食運営会議 … 毎月1回定例開催

8 関係機関との連携・打合せ

(1) 児童相談所との連携

児童相談所との連携を深めるため、入所児童の経過判定のための来校時や児童移送等での児相訪問時に打合せや意見交換を行いました。また、運動会、作業班学習発表会、卒業証書授与式の際には各児童相談所に案内をしました。

(2) 関係機関との連携

卒業証書授与式には原籍校の校長などの出席を求め、児童に直接卒業証書を手渡してもらいました。

9 児童自立支援計画票の作成

新入生は3か月以内に、3か月以上経過した児童は年2回（5月と11月）に児童自立支援計画票を作成し、各児童相談所に送付しました。

IV 職員研修等について

職員の資質の向上を図るために、職場内研修に努めるとともに、外部の研修会にも積極的に派遣しました。ただし、コロナ禍の影響により外部研修が大幅に縮減されています。

校長	・十勝管内児童虐待対応専門研修での講義	10月7日：帯広市
企画総務部	・オホーツク管内児童施設職員研修会 ・栄養士研修 ・栄養士研修	10月13日：北見市 平井部長 10月14日：中湧別町 和田栄養士 2月24日：中湧別町 和田栄養士
自立支援部	<職場内研修・伝達研修> ・被措置児童虐待防止研修（清澤校長） ・DVD映像研修 子どもの成長・発達と生育環境 ・「トラウマ・インフォームド・ケア」の考え方（富田医師） <外部研修> ・新型コロナウイルス感染症の感染防止に係る研修会	5月19日：全職員 6月24日：全職員 7月9日：全職員 8月28日：網走市 藤久支援員

V 生産活動について

1 山林経営管理

令和2年度は森林管理計画（5年）の3年目となり、森林組合に委託して、次の事業を中心に材木の育成の促進及び健全性のための事業を実施しました。家庭学校の所有のする山林は、遠軽町から湧別町にかけて約400haで、樹種は、天然林が42%、カラマツが32%、トドマツが23%、他にグイマツ、ミズナラ、トウヒ、赤エゾマツとストローブが植えられています。

(1) 林班別の面積・樹種

① 遠軽町

7 1 林班	8 8 ha	天然林広葉樹、カラマツ、一部トドマツ
7 2 林班	8 ha	カラマツ、天然林広葉樹、トドマツ
7 3 林班	3 ha	カラマツ、天然林広葉樹
7 4 林班	1 2 8 ha	天然林広葉樹（7 8 ha）、トドマツ、カラマツ、グイマツ、赤エゾマツ
7 5 林班	8 2 ha	天然林広葉樹（4 3 ha）、トドマツ、カラマツ、トウヒ、赤エゾ

マツ

7 6 林班 4 6 ha 天然林広葉樹、カラマツ、トドマツ、赤エゾマツ、ストローブ

② 湧別町

1 8 林班 2 1 ha カラマツ、グイマツ

1 9 林班 2 3 ha トドマツ、カラマツ

(2) 山林事業の実施状況

事業名	林班	樹種	事業面積ha	事業費	補助金	自己資金
造 林	18-1	カラマツ	4.57	2,536,463	2,502,661	33,802
下草刈り	71-8 外	カラマツ	12.55	975,810	846,545	129,265
間 伐	71-11	カラマツ	10.84	2,577,960	2,248,962	328,998
					材売上げ	3,838,943 円
野ねずみ駆除	71-4 外	カラマツ	50.69	253,337	225,031	28,306
皆 伐	18-1	カラマツ	3.00		材売上げ	3,300,000 円

令和2年度合計

(令和元年度の状況)

収入 補助金	5,823,199 円	(5,783,769 円)
材売上げ	7,138,943 円	(14,329,112 円)
収入計	12,962,142 円	(20,112,881 円)
支出 事業費	6,343,570 円	(10,318,661 円)
総収支 (収入計-事業費)	6,618,572 円	(9,794,220 円)

2 営農経営管理

令和2年度の酪農事業は、頭数規模は例年と変わりありませんでした。夏季の牧草収穫については、6月の天候が悪く一番牧草の収穫が主要な牧草地については7月後半からのスタートとなり8月までかかりました。しかしながら、品質は良かったので生乳の生産量はここ2、3年の中では1番の多さとなりました。

バター・チーズ工場の乳製品販売については、7月より一般販売を開始しました。12月からは遠軽町のふるさと納税の返礼品として登録され、こちらに向けても出荷しています。また、3月より道の駅「遠軽 森のオホーツク」に対しての商品の出荷も開始しました。

(1) 牧草収穫量 (令和2年度)

圃場	一番牧草				二番牧草			
	面積(ha)	刈取り日	収納日	収量	面積(ha)	刈取り日	収納日	収量
向陽寮裏	0.64	7/3	7/6	ロール8本	0.64	8/21	8/23	ロール3.5本
給食棟・楽山寮横	0.9	7/3	7/6	ロール14本	0.9	8/21	8/23	ロール6本
洗心寮前	0.34	7/3	7/6	ロール4本	0.34	8/21	8/23	ロール1.5本
川口畑(小)	0.61	7/17	7/19	ロール13本	0.61	—	—	—
礼拝堂裏	0.7	7/17	7/21	ロール17本	0.7	—	—	—
川口畑(大)	1.37	7/27	7/31	ロール56本	1.37	—	—	—
川口畑(奥)	0.61	8/1	8/3	ロール17本	0.61	—	—	—
四町畑	4.52	7/16	7/20	ロール97本	4.52	8/22	8/25	ロール13本
掬泉寮裏	0.52	7/16	7/20	ロール12本	0.52	8/22	8/25	ロール2.5本
川口畑(手前)	1.5	8/16	8/19	ロール29本	1.5	—	—	—
合計	11.71			ロール261本	9.21			ロール26.5本
2年度	ロール合計261本							
元年度	ロール合計259本							

(2) 飼養頭数

年齢	経産牛							育成牛			総計
	7-10	6	5	4	3	2	小計	1	0	小計	
2年3月	4	3(1)	1	3(1)	5(1)	4(1)	20(4)	7(1)	7(2)	14(3)	34(7)
3年3月	3(1)	1	2	5(1)	4(1)	6(1)	21(4)	6(2)	8(2)	14(4)	35(8)

()内はジャージーの頭数で、内数である。

(3) 分娩件数、生乳販売等実績

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
分娩件数	20件	20件	26件
生産乳量	134.9t	126.8t	120.3t
生乳販売金額	10,616,027円	9,390,114円	8,796,553円
個体販売頭数	10頭	22頭	23頭
個体販売金額	1,402,998円	3,119,283円	2,686,532円
バター生産量	57.4kg	56.9kg	112.4kg
バター生産個数	459個	455個	562個
チーズ生産量	373.6kg	約455kg(試作含む)	—

VI 実習生・研修生の受入れ状況について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数					2	1				1			4
人数					3	1				1			5

【概況3】

自立援助ホーム「がんぼうホーム」

I 総括

令和2年度はホーム長が交代し、新たに2名の職員を採用して5名の体制でスタートしました。年度当初の在籍者は3名でした。年度中に入居者2名、退居者1名あり年度末での在籍者は4名となりました。

(定員6名)

入居者は12月に北見児相より1名、1月に帯広児相より1名でした。退居者は4月に1名で、年度の大半が在籍者2名の結果となりました。退居者については、ホームでの生活の中では自立への道を見つけることができずに、授産施設利用を目指し措置児相に戻りました。入居者に対しては、就労支援として就職探し及び就業が継続できるよう支援を行いました。

修学については、遠軽高校定時制に1名入学し高校と連携し支援を行いました。学校に馴染めず心身ともに不調となり休学となりました。高等学校卒業程度認定試験を受験した1名は合格しました。

就労は主にハローワークを通じて情報を得、就労先は町内外企業の協力により大型スーパー、飲食店、設備管理業者となっています。

また、入居者への対応は生活状況の変化に留意しながら職員の面談を中心に行っていますが、樹下庵診療所受診支援及び措置児童相談所と連携を取りながら対応しました。

II 職員について

支援職員5名(常勤3名うち1名はホーム長を兼ねる。非常勤2名うち1名は宿直対応、1名は日直対応。)

職名	氏名	職務内容・事務分掌
ホーム長	清水真人	常勤 総括
児童生活支援員	清水律子	常勤
児童生活指導員	伊東睦子	常勤
児童自立支援専門員	木元 勤	非常勤 宿直対応
嘱託職員	加茂文明	非常勤 日直対応

III ホームの現況について

1 入居者の受入状況

・令和2年4月

入居者3名

就学状況(高校) 定時制1名(9月休学) 高等学校卒業程度認定試験合格1名

・令和3年3月

入居者4名

・児童相談所別 札幌市児相1名、帯広児相1名、岩見沢児相1名、旭川児相1名、北見児相1名

・受入前在籍 家庭5名

2 退居の状況

授産施設移行1名

3 入居者の現況について

(1) 定員・在籍数(令和3年3月31日現在)

定員	在籍数	入所率
6	4	67%

(2) 措置児童相談所

中央	旭川	函館	帯広	釧路	北見	岩見沢	室蘭	札幌市	合計
0	1	0	1	0	1	1	0	1	5
0%	20%	0%	0%	0%	20%	20%	0%	20%	100%

(3) 月別在籍人員推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初日	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	4	4	30
受入	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
退居	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月末	2	2	2	2	2	2	2	2	3	4	4	4	31

(4) 初日年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
16歳	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1
17歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2
18歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	2	2	2	2	2	2	2	3	4	4	4

(5) 在籍期間

～3か月	～6ヶ月	～1年	～1年半	～2	2年～	計
2	0	1	1	1	0	5
40%	0%	20%	20%	20%	0%	100%

4 事故等の状況

(1) 事故発生状況

家出	1件	1名	8月7日早朝家出。8月12日栃木県那須塩原市にて保護。8月19日がんぼうホームに移送。
----	----	----	---

(2) 過去4年間の家出・失踪の発生状況

	29年度	30年度	元年度	令和2年度
件数	0	0	0	1
延べ人数	0	0	0	1

5 会議の開催状況

毎週始めに、常勤職員による内部打合せを行いました。年3回職員全員による内部会議を開催しました。

6 自立生活援助計画の作成

5月、11月には、入居者の自立生活援助計画票を作成し、各児童相談所に送付しました。

7 職員研修について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年開催している全国自立援助ホーム協議会、ホーム長研修会、全国自立援助ホーム協議会大会及び自立援助ホーム北海道ブロック交流会が中止となり参加できませんでした。

・富田医師講習会 7月9日 樹下庵診療所 清水真人、伊東睦子出席

・子ども家庭総合支店拠点の効果的運営に係る研修会 11月27日 オホーツク総合振興局庁舎 清水真人出席